

Recommend 暮らしに役立つパナソニックのオススメ商品をご紹介します



「トビハネヨゴレ」を泡で受け止める 「泡」と「水流」でしっかりお掃除 汚れをはじく「有機ガラス系新素材」 お掃除しやすいミリラベル設計

汚れをおさえる工夫が充実。流すたびに泡で洗うトイレ。さまざまな角度から汚れをガードし、お掃除もしやすく工夫することで、いつでも”キレイ”を保てるトイレ空間。いつでもキレイな空間に。節電・節約しながら、すっきりとした毎日を叶えます。

さらに進化した、最高峰の全自動おそうじトイレ **「新型アラウーノ」** 詳しくはwebページへ!

One point 家を建てる時に知っておきたい! 住宅の「これは知っとこ!」をお届けします。

新築住宅は、これから低炭素化、ゼロ・エネルギー化が進みます。

政府は、住宅の生涯CO2 排出量を削減するLCCM住宅を最終目標に、低炭素住宅化を進めています。2020年には、300m²以下の新築にも「2013年改正省エネ基準」を原則義務化へ、新築戸建の50%がZEHとなります。

[LCCM住宅] 建設から廃棄までの一生涯のCO2収支をマイナスにする住宅。

[ZEH住宅] 創るエネルギー量が、使うエネルギー量よりも大きいか、おおむね同じ量になることをめざした住宅。

[認定低炭素住宅] 建物の一次エネルギー消費量が、2013年改正省エネ基準に比べて-10%以上となる住宅。省エネ基準以上の断熱性能やCO2排出を抑える設備や処置の別途選択が必要。

[2013年改正省エネ基準レベル] 外皮(外壁や窓など)の断熱性能に加えて、一次エネルギー消費量が2013年改正省エネ基準以下になる住宅。



Information 「ロング&スマート」パナソニック テクノストラクチャーの家がわかる、ミニコーナー

テクノストラクチャー「心地良さの理由」未来に、ずっと続く住まい テクノストラクチャーの特長

ずっと快適&お得!

パナソニックの省エネ&創エネ設備



断熱にこだわり、快適さと冷暖房効率を高めます。さらに、LED照明など省エネ設備はもちろん、太陽光パネル、蓄電池、HEMS※などパナソニックの技術を活かした省エネ・創エネ機器で、エネルギー収支0の住まいの実現も可能です。

間取りの自由度&可変性

柱の少ない広々空間を実現する「自由設計」



テクノストラクチャー工法と構造計算によって、強度を保ちながら柱を減らすことが可能。広々としたリビングや高い天井を実現します。また、将来の間取り変更やリフォームがしやすい間仕切壁「フリーウォール」で、永く快適な暮らしを提案しています。

高い耐震・耐風・耐積雪性

自然災害に負けない強い木造住宅



自然災害に耐える住まいの力を計算する「構造計算」を1棟ごとに実施し、耐震・耐風・耐雪すべてにおいて高い品質を確認します。また、実物大モデルによる振動実験を行い、震度7を計5回与えても構造強度に影響の無い強さが実証されています。

※HEMS(ヘムス):住戸の電気使用量を「見える化」し、家電の運転を自動制御するシステム



テクノストラクチャーが贈る、暮らしの情報誌「テクノマガジン」

TECHNO MAGAZINE

propose a wonderful life to your family



ISSUE 03

私と家族の「快適」を叶える、理想の住まいの作り方。
居心地の良い空間づくりを導く、ゾーニングマップのススメ

How to make cozy room

心地良いお部屋の作り方

新しくお家を建てるなら、自分と家族にとって暮らしやすく、居心地のいい空間をつくりたいですね。そのためにオススメするのが、今回のテーマ「ゾーニングマップづくり」。ぜひ家づくりのヒントに役立ててみてください。



Given the coziness 居心地の良い空間を作る「ゾーニングマップ」のススメ Create a cozy space recommendation of " zoning map"

私たちは、食事はダイニングで、勉強は子ども部屋で、間取りに暮らしを当てはめようと考えてしまいがちですが、実は、家族にとって本当に心地よい住まい方は別にもあるかもしれません。それを探るための手段としてオススメしたいのが、「ゾーニングマップ」です。「暮らし」は、食べる、寝る、遊ぶ、料理をする……といった、たくさんの“動詞”でできています。ゾーニングマップは、その“動詞”の部分で、どこでしたいか？ 誰としたいか？ その部屋はどれくらいの大きさでどんな位置関係にあるのか？ というイメージを書き出していくものです。こうすることで間取りにとらわれず、自分や家族が、実はどこで何ができると幸せなのか、見えてくるヒントになります。また、家族が別々に書いてみると、相手の価値観を知るいい機会にもなります。新築時にはぜひご家族でゾーニングマップをつくってみてください。

ゾーニングマップを作ってみよう！

kids room

- 子どもが寝る

kitchen

- ご飯をつくる

Living Room

- ぼんやりする
- テレビを見る
- 夫と過ごす
- 子どもと遊ぶ
- おやつを食べる
- ペットとくつろぐ
- 本を読む
- お酒を飲む
- 子どもが宿題をする

Dining

- ご飯を食べる

Sanitary

- トイレに行く
- お風呂に入る
- 顔を洗う

Bed Room

- DVDを見る
- 寝る
- 本を読む

ゾーニングマップ作成のpoint

紙を住まいと想定し、家の中ですることを場所別に記入していきます。「どこで、何をしたいか」や「どこですることが多いか」など、思い描いてみましょう。家の中の物理的な距離感（近い方がいい、少し離れている方がいい等）も反映した方が◎。配置の参考になります。

ゾーニングマップの例からわかる 暮らし方のニーズ

リビングでしたいことが圧倒的に多い。
リビングで過ごす時間が長いということがわかるので、リビングの居心地を重視すると、気持ちの良い時間が増えると考えられます。

リビングとダイニング、キッチンが用途が重複することも。
隣り合っていて境界線が少ない空間にした方が便利で快適ということがわかります。

サニタリースペースは、長時間過ごすリビングの近くが良い。
同時に、少しの距離感が必要です。

本を読む場所はリビングとベッドルーム。
リビングとベッドルームに本を置く場所を確保すると、より快適に過ごせる空間が作れそうです。

子ども達の部屋と夫婦のベッドルームは独立させたい。
家族とはいえ、プライバシーを尊重する空間が必要と考えていることがわかります。



Advice

当初は「心地よい」と思いながら暮らしている家でも、子どもが成長したり、家族の仕事が変わったりなど、ライフスタイルが変化することで心地よい住まいのあり方も変わってきます。今この状態がベストでも、来年もベストとは限りません。まめに暮らしを見直して、その都度修正していくのが理想的です。

Customer's Voice

テクノストラクチャーの家に暮らす お客様の声

テクノストラクチャーを選んだ理由や住み心地などを語っていただきました。



S様 Family

今回はテクノストラクチャーの高気密・高断熱工法「くるみ〜な」の家に住まれるS様ファミリーにお話を伺いました。

Q.1 テクノストラクチャーを選ばれた決め手は何ですか？

1番の決め手は、テクノストラクチャーが木と鉄を使った強い家であることですね。普通の木造住宅とは違う耐震性が魅力でした。その他には、パナソニックというネームバリューにも惹かれました。

Q.2 家を建てるにあたり、楽しかったことはありますか？

壁紙や外壁のデザインや色、お風呂やトイレなどの設備、全てを自分たちで選んで決めていく工程ですね。それがだんだんと形になっていくことが嬉しかったですし、夢が叶っていくようで打ち合わせはいつも楽しかったです。



Q.3 「くるみ〜な」にして良かったと思う点は何ですか？

一冬越してみても、今までの家との違いに驚きました。リビングで暖房を入れておくと、リビングイン階段を通じて2階の寝室まで暖房の熱が上がってきて、寝るときにとっても暖かくて快適なんです。高気密・高断熱の「くるみ〜な」効果のおかげで、各部屋でエアコンを使わなくても良いのは嬉しいですね。

Q.4 以前と比べて光熱費は変わりましたか？

オール電化にしてガス代がかからなくなったのは大きいです。もちろん多少電気代はこれまでに比べて上がりますが、1,000〜2,000円程度なのでだいぶ安く済んでいると思います。

